

# 「マーケットの浅読み・深読み」

発行・編集:FXニュースレター

執筆担当:斎藤登美夫



◆◆◆ No.0690 ◆◆◆

22/06/08

## 【 揺らぐ「ドル安サイクル」、ドルの底入れはいつなのか!? 】

当レターで再三再四レポートしてきた「ドル安サイクル」が揺らいでいる。前回レポートしたのは今年の1月26日付け。その際、筆者は「今春にも『短期』そして『中期』波動で底入れか!?」と指摘していた。しかし、ご承知のようにドル/円は今年3月以降急速な右肩上がり。調整らしい調整もないまま130円台まで値を上げている。これはいったいどういうことなのか、新たに取材をした専門家の意見も交え今回改めてレポートしてみたい。

### ◎5月24日安値126.36円が「サイクルボトム」の可能性も

ドル/円における3つの「ドル安サイクル」については、過去の当レターでも何度かレポートしている。詳細はバックナンバーを是非とも当たって欲しいが、前回レポートした際のサイクルなどを下記で一度掲載しておく(赤字は今回修正を加えた部分、前回掲載分から11-14年データを割愛)。

長期波動(66ヵ月)	中期波動(20-25ヵ月)	短期波動(10-15ヵ月)
	・15/08/24 116.15(26ヵ月)	左同 (10ヵ月)
↓	↓	
・16/06/24 98.65(56ヵ月)	・16/06/24 98.65(10ヵ月)	・16/06/24 98.65(10ヵ月)
↓	↓	・17/09/08 107.33(13ヵ月)
	・18/03/26 104.57(20ヵ月)	・18/03/26 104.57(7ヵ月)
	↓	・19/01/03 104.10(10ヵ月)
・20/03/09 101.19(45ヵ月)	・20/03/09 101.19(24ヵ月)	・20/03/09 101.19(14ヵ月)
* 暫定値;本来であれば2022年ごろ	↓	・21/01/06 102.60(10ヵ月)
期間が短すぎるとの声も	基本的には22年春ごろ	・22/05/24 126.36(15ヵ月)
	(22年5月末段階で未達!?)	(未確定)

上記したドル安サイクル(とくに短期波動)を参考に、専門家とも話をした結果、大きく3つのパターンが考えられるようだ。以下で順を追って解説したい。

まずケース①は、先で指摘した「5月24日の126.36円が短期波動のサイクルボトムが『正しい』」との考え方だ。その場合、5月9日にドルは131.35円という年初来高値を付けたのちの調整的下押しが早くも終了し、すでに新たな上昇波動入りしていることになる。上値メドは定かではないものの、今後135円あるいは140円といったレベルへ向けたドル高進行も否定できないだろう。

ちなみに、個人的にこの可能性は決して高くないと当初予想していたのだが、今週のドル/円が週初からドル高・円安へと振れ、アツという間に前述した高値131.35円を超えてきたことを踏まえると、実はダークホースだった気もしないではない。

次のケース②は先の①とまったく逆。つまり、「5月24日の126.36円は短期波動のサイクルボトムではない」との考え方で、通常10-15ヵ月であるサイクルが延長されているとの見方になる。

この場合、ドルの実勢相場は一時133円を付けるなどドル高へと動いているが、大きな流れはドル安・円高。そして、さほど遠くないタイミングでドルはトップを付けるとともに反転し下値を試すと、少なくとも126.36円以下までの下落することはほぼ確実との考え方になるわけだ。個人的には、ここ最近の実勢相場との齟齬が目立つ論調なだけに、正直疑念はなくもない。

そして最後、ケース③の考え方は、①と②の折衷ともいえるもので、具体的には「今回はイレギュラー。短期波動のボトムがパス、もしくは確認されないパターンだった」になる。

ある意味では、なんとも都合の良い解釈だが、先で記した中期波動2016年6月のように、サイクル的に見てどうしても辻褃の合わないパターンというものは時折観測されてしまうことがわかっている。なお、このパターンであれば、今後どのタイミングで次の底入れを達成するのかが不明。そうした意味では、もっとも厄介なケースになるが、実をいうともっとも可能性が高いようにも思っている。いずれにしても、いましばらく

く、ドル/円相場の状況をしっかりと見極めたうえで最終判断を下したい。(了)



当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。



FX-newsletter